

【会員一覧】

《 正会員 》

● 有限会社 平居建設

〒 527-0024 滋賀県東近江市札の辻 2 丁目 12-36

TEL / 0748-22-8138 FAX / 0748-22-8149

● 株式会社 e c o ・カンパニー

〒 389-0505 長野県東御市和 2106-1

TEL / 0268-64-6070 FAX / 0268-64-3042

● 株式会社 ライフベース

〒 791-1121 愛媛県松山市中野町 177-4

TEL / 089-993-5856 FAX / 089-903-1177

● 株式会社 中川商店

〒 940-0856 新潟県長岡市美沢 4 丁目 65-12

TEL / 0258-32-2585 FAX / 0258-32-4606

● 株式会社 レクティオ

〒 933-0319 富山県高岡市荒屋敷 601-2

TEL / 0766-30-0386 FAX / 0766-30-0387

● 株式会社 アイ機

〒 401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口 857-3

TEL / 0555-72-8432 FAX / 055-213-5963

● 富士貴建装 株式会社

〒 332-0006 埼玉県川口市末広 2 丁目 13-7

TEL / 048-225-6630 FAX / 048-225-4664

● ジャパン・アース・テクノ 株式会社

〒 438-0068 静岡県磐田市前野 2548

TEL / 0538-31-0666 FAX / 0538-35-8810

● 株式会社 ジオック技研

〒 950-0162 新潟県新潟市江南区亀田大月 3-3-21

TEL / 025-383-5757 FAX / 025-383-5758

《 協力会員 》

● 株式会社 ヒヨシ

〒 933-0987 富山県高岡市東海老坂 12

TEL / 0766-26-5252 FAX / 0766-25-0510

● オリックス 株式会社 富山支店

〒 930-0029 富山県富山市本町 3-25

TEL / 076-444-6520 FAX / 076-444-6521

● 株式会社 関東共同土建

〒 272-0133 千葉県市川市行徳駅前 2 丁目 8-20 サントス 2F

TEL / 047-306-8778 FAX / 047-306-8776

《 賛助会員 》

● 一般社団法人 ハウスワランティ

〒130-0026 東京都墨田区両国 3 丁目 25-5 JEI 両国ビル 11 階

TEL / 03-5638-0086 FAX / 03-5638-0076

● 株式会社 GIR

〒135-0042 東京都江東区木場 1 丁目 5-25 深川キ`ャザ`リアター S 棟 4F

TEL / 03-5665-0955 FAX / 03-5606-7707

● 株式会社 セーフテック

〒 359-1133 埼玉県所沢市荒幡 39-1

TEL / 04-2921-8486 FAX / 04-2921-8496

● ジオクリエート 株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 5 丁目 6-12 bizcube 7F

TEL / 03-6311-7760

● 株式会社 第一工業

〒 272-0013 千葉県市川市高谷 1774

TEL / 047-328-1551 FAX / 047-328-1577

《 特別会員 》

● 株式会社 コンステックホールディングス

〒 540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東 4 番 33 号

TEL / 06-4791-3101 (代表)

● 株式会社 グランテック

〒 935-0037 富山県氷見市上泉 51

TEL / 0766-91-6111 FAX / 0766-91-1548

スクリー・プレス工法協会だより

スクリー・プレス工法協会

<住所>富山県氷見市上泉 51
<TEL> 0766-30-2372 <FAX>0766-30-2566
<Email> spassoc.info@gmail.com
<HP> https://screw-press.jp/



会長挨拶

平成 30 年 4 月 1 日にスクリー・プレス工法協会が発足致しました。正会員 10 社、協力会員 3 社、賛助会員 4 社、特別会員 2 社と大変多くの会社様から賛同をいただきましたことを感謝申し上げます。

当協会の理念として、“地盤改良の常識を変えよう”を掲げました。常に当協会から従来工法にはない新しい考え方やそこから生まれる新工法を発信していきたいと考えています。協会組織になったことで注目度や信頼度が増し、地盤改良業界において益々影響力が高まっていくことでしょう。

また、当協会は会員企業全員の組織です。会員企業が主体となって運営していくことを大きな行動目的としています。是非、会員企業皆様がこの会をどうしたいのか、どうあるべきなのか前向きな意見をいただきたく、ここにお願いいたします。そして、当協会の基本方針の一つ目に入れた“当協会工法技術を通じて、全ての会員企業が経済的に発展成長する”ための運営をそれぞれが目指していっていただきたいと思います。

スクリー・プレス工法やその他の独自開発工法を普及させることによって、幸せな社会環境づくりに貢献できる、そんな工法協会を目指します。微力ながら協会会長として尽力していきますので、皆様のご協力とご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



《 株式会社グランテック 取締役副社長 永井 理之 》



開発者挨拶

砕石柱による地盤改良に取り組んで 15 年、スクリー・プレス工法を開発し、特許申請してから 14 年、そしてスクリー・プレス工法の試作 1 号施工機完成から 7 年が経過した今、工法が全国に広がりつつある現状を非常にうれしく思い、感無量のものがあります。

新潟からアクパド工法を導入して砕石柱地盤改良の営業を開始してみたものの、高コストでほとんど受注できない状況を克服するため、低コスト砕石柱工法の開発を必死で進めていたこと、工法は技術的に完成したが第三者認証がないため保証会社等に相手にしてもらえず、建設技術審査証明を取得するため必死に勉強したこと、膨大な開発費を軽減するために、新連携補助金申請書を中小機構とともに夜遅くまで書き続けたこと、機械の耐久性や操作性の改良を何回も繰り返したことなど、新しい製品を世に送り出そうと数々の努力をしてきたことを昨日のように思い出すこのごろです。

開発の過程は不眠不休のこともありますが、努力がきちんと成果として表れたとき、疲れも吹っ飛び最高の幸福感を味わうことができました。特に、3 千万円の新連携補助金が採択となり試作 1 号機の予算が確保できたときは、いよいよこれでこの工法を世に送り出せると胸が高鳴ったものです。

工法は現在も進化中であり、小型機の改良、液状化対策の建設技術審査証明へのチャレンジ等を進め、導入頂いた企業の業績に寄与する「利益を生む工法」として今後も成長を続けていきます。



《株式会社グランテック 技術顧問 折戸 清治 》



活動報告



5/24・25 住宅ビジネスフェア 2018(東京ビッグサイト内)に出展致しました。

《 株式会社グランテック 北関東営業所 荒井 繁 》

5 月 24 日～25 日の 2 日間スクリー・プレス工法協会ブース内で、来場者様の対応をさせていただきました。年々来場者様が減少傾向とお聞きする中で、やはり全国規模のイベントなので、お客様も何か新しい情報を発見したいと言う狙いと思いが有ってか、北は北海道、南は沖縄と沢山の来場者の方々に、工法 PR 出来る、又とないチャンスと思ひ対応をさせて頂きながら、工法をお伝えし名刺交換と人脈作りに、精一杯チャレンジさせて頂きました。

結果約 32 名の方と名刺交換をさせて頂きました。その中で、数件のお客様と連絡取らせて頂き、早々の見積依頼を頂き現在見込み案件のリストになっています。また有力な方の名刺も頂いていますので、早い内に接触を謀り成果に結びつけていきたいと思ひます。多種多様な業種の来場者ですが、いずれにしても住宅に関わる方々の来場ですから、業種にそったお話から、当協会の目的に誘導して、印象を植え付け次に結びつけられる事に、全力投球を致しました。

また今回の展示に当たり関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。



富士貴建装(株) 林様にスクリー・プレス工法についてのセミナーを行っていただきました。



担当者ニュース



《 株式会社グランテック 整備担当 松葉 直輝 》

SP 事業本部では、“狭小地でも対応出来るようなスクリー・プレス工法施工機が欲しい”というご要望にお応えするべく、小型機の開発を進めてまいりました。そして 4 月に 1 号機が完成し、株式会社 eco・カンパニー様へ納入されました。今後も改良を繰り返しながら、より良い施工機にしていきます。

仕様目標

- 1) 輸送時重量を 10t 未満とする。
…10t トラックで運搬が可能となること。
- 2) 小型掘削機にて、ホッパーに碎石補給が可能とする。
…従来よりも狭小地での施工が可能となる。
また、運搬車 13t トラック等で施工機と小型掘削機の 2 台積みが出来れば、運搬費の削減も可能となる。
- 3) スクリー、押圧ロッド装着のまま自走可能とする。
…事前にスクリーやロッド類を取り付けておくことで、スクリーと押圧ロッドのトラック搬入及び現場取り付け作業が不要となる。
- 4) 碎石柱と鋼管杭および、液状化対策施工も可能とする。
…現行機と同じく、数種の工法が施工可能な仕様とする。



輸送時重量 9.9 t / 全装備重量 10.6 t / 全幅 2.0m / ホッパー高 通常時 2.2m 嵩上げ時 2.8m
スクリー径 (標準)最大 φ 350 mm (液状化対策用)最大 φ 280 mm / 最大掘削長 4.0m



会員紹介



ライフベースキャラクター
“ガイアくん”

社名の由来

～ The origin of a company name ～

LIFE … 関わる人の生活や暮らしの
BASE … 基礎基礎を安全かつ安心なものにする。
建設業界に関わるものとして、関わるその人の生活や暮らしの基礎基礎を、より安全でありかつ安心なものにし、豊かな生活を送ってほしい、という想いを社名に込めたものです。

株式会社ライフベースは平成 24 年 10 月 24 日に創業、今年で設立 6 年目となりました。上は 60 代、下は 20 代と幅広い年代の社員が一丸となって活躍しています。土木工事業・基礎工事業・地盤改良事業・農地整備事業を営んでおり、暮らしを守る「基礎（基礎+地盤）」づくりをする会社です。

よく学び、働き、そして楽しむ。何事にも全力で取り組むのがわが社のスタイルです。社員一同、企業理念である「人に愛され、誇れる企業」を目指し、未来のために挑戦し続けます。



《協会よりお知らせ》

- ・協会パンフレットが完成しました。ご希望の方は当協会までご連絡下さい。
- ・当協会では、インスタグラムを通じていろいろな情報配信しています。
また、インスタグラム・協会ホームページで掲載できる写真や情報を募集しています♪
- ・8 月 23 日、24 日に設計研修（参加費無料）を開催いたします。（場所：金沢勤労者プラザ）